

## トライネット・ロジスティクス株式会社 様

### 「米国SOX法への対応」サーバーへの作業履歴を AssetView HYPER Mで取得

セキュリティポリシーどおりの操作を証明するログ管理

#### ご担当者様



トライネット・ロジスティクス株式会社  
IT推進部 部長  
足立 貞介 氏



トライネット・ロジスティクス株式会社  
IT推進部 第一ITマネジメント室  
左伴 英一 氏

#### 弊社担当営業



株式会社ハンモック  
営業本部  
営業部 営業四課  
森谷 崇史

#### 海外から国内エンドユーザーまで

『トライネット・ロジスティクス株式会社』は三井物産の物流関連子会社である、日東ロジスティクス株式会社、東神倉庫株式会社の一部部門、京義倉庫株式会社の3社が統合され、2007年4月にスタートした総合物流企業である。

原材料の調達から製造・保管・配送まで、同社は大手アパレルチェーンを顧客に総合物流サービスを提供している。また通信販売物流では業界トップクラスの実績を誇っている。

その実績を支えるのが情報システムである。物流企業にとって情報システムはビジネスの基盤であり、重要性は日々高まっている。こうしたなかで2006年10月、同社で情報システムの企画・推進を担っているIT推進部では米国SOX法への対応のひとつとして、「AssetView HYPER M(PCログ操作機能)」を導入した。同社 IT推進部 部長 足立 貞介 氏、同部 第一ITマネジメント室 左伴 英一 氏にAssetView HYPER Mの導入の背景、導入後の運用についてお話を伺った。

#### 米国SOX法への対応要求

「米国SOX法404条に対応せよ。」

トライネットロジスティクス(当時は日東ロジスティクス)に親会社である三井物産から要求があったのは2005年10月のことである。三井物産は米国NASDAQ(店頭公開市場)に上場しているため、米国SOX法404条に対応する必要があったが、子会社である同社も適用対象となるためだ。

すでに2005年7月に ISMS、BS7799-2認証を取得していた同社にとっては、「IT全般統制」については、それまでのマネジメントシステムで培ったノウハウで対応できるだろう、と見通しがつけられた。また「業務処理統制」についても要求を受けた当時、同社 IT推進部では業務効率化のため純国産ERP「GRANDIT」の導入を進めていた最中だった。GRANDITには「業務処理統制機能」が備わっており、この機能を活用すれば大部分の要求はクリアできることが分かった。

#### サーバーに対するPC操作ログ

しかし、アプリケーション自身ではアプリケーションサーバーに対して、誰が、いつ、どんな作

#### 導入先企業データ

### トライネット・ロジスティクス株式会社

本社所在地：東京都江東区辰巳3-5-3 サンイースト辰巳  
本社電話番号：03-5569-3812  
設立：1959年2月11日  
資本金：10億円  
従業員(パート社員含む)：約1,500名(2007年4月現在)  
売上高：14,700百万円(2007年3月期)  
URL：<http://www.trinet-logi.com>

### 海外から国内エンドユーザーまで

～お客様に最適なロジスティクスをオーガナイズする  
総合物流企業～

東京・横浜・中部・神戸・福岡の日本の主要貿易港および首都圏を脱んだ北関東に本支店を配置、全国14カ所に物流センターを配した全国ネットワークを形成しています。三井物産株式会社のグローバルな海外ネットワークと、当社国内ネットワークがリンクした海外からの一貫したロジスティクス体制を構築しており、サプライチェーン・マネージメントを支援する最新ITソリューションを駆使し、海外からの国際輸送から国内での輸出入業務・保管・流通加工・エンドユーザーへの配送まで、お客様へ最適なインテグレイテッド・ロジスティクス・サービスを提供しています。



